

| | |
|-----------------|--|
| 会議等名 | 平成 28 年 第 1 回海老名市外部評価委員会 |
| 日 時 | 平成 28 年 2 月 23 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 55 |
| 場 所 | 海老名市役所 6 階 第 2 委員会室 |
| 出席者 | 出席者：阿部委員（委員長）、市川委員（副委員長）、 城向委員（副委員長）、大島委員、菅生委員、高橋委員、 長谷川委員、山田委員、杉山委員、田中委員 (以上 10 名出席) 欠席者：霜田委員、谷村委員 海老名市：内野市長（途中退席）、清水財務担当理事、 秦財務部長（途中退席）、鴨志田財務部次長、 伊藤企画財政課長、石田政策経営係長、横溝 |
| 1 開 会 | 伊藤企画財政課長 |
| 2 委嘱状の交付 | 内野市長から委員各位へ委嘱状を交付 |
| 3 市長あいさつ | |
| 4 委員自己紹介 | 出席委員全員から自己紹介 |
| 5 委員長の選任及び委員長挨拶 | 海老名市外部評価委員会条例第 5 条第 2 項に基づき、委員の互選により委員長を選任 ⇒阿部委員を第 6 期外部評価委員会の委員長として選任 |
| 6 副委員長の任命 | 海老名市外部評価委員会条例第 5 条第 3 項に基づき、委員長から任命 ⇒阿部委員長より、市川委員及び城向委員を第 6 期外部評価委員会の副委員長として任命 |
| 7 議 題 | (1) 海老名市の行政評価及び平成 28 年度の外部評価委員会の進め方について 事務局から資料に基づき説明 ＜質 疑＞ (委員) 海老名市外部評価委員会条例第 1 条の趣旨では「評価の客観性及び信頼性を確保するため、海老名市外部評価委員会を設置し・・・」とあり、前年度に実施した事業を市と独立した立場から、あくまでも評価のみを実施するように読み取れるが、事務局からの説明では「行政が気づかない課題、事業等の必要性、効果や改善等に関する提案や考え方、行政評価制度そのもの」についても、外部評価委員会では議論を行うということであった。客観的な評価だけでなく、 |

各施策や事業等の内容に踏み込んで評価を実施することになるのか。

(市) 評価を実施するにあたっては、事業所管課や各部の次長に対してヒアリングを実施しており、施策や事業内容を理解いただいた上で、評価作業を行っていただいている。担当部課評価、内部評価といった市内部での評価結果に対し、客観性や信頼性が損なわれることのないよう、外部評価委員会に評価を実施していただいているといった趣旨については条例で定めるとおりである。

○平成 28 年度外部評価委員会の評価作業に係るグループ分け (3 グループ) を実施

⇒Aグループ 阿部委員長、霜田委員、高橋委員、杉山委員

Bグループ 城向副委員長、大島委員、菅生委員、谷村委員

Cグループ 市川副委員長、長谷川委員、山田委員、田中委員

○各グループの評価担当施策及び事業の決定

(2) その他

事務局から事務連絡等

⇒次回 (平成 28 年第 2 回) 外部評価委員会の開催日時決定

日時:平成 28 年 5 月 18 日 (水) 13 時 30 分から

※委員会終了後、市庁舎会議室の利用状況を確認し、市役所 3 階政策審議室にて開催することで決定

8 閉 会

伊藤企画財政課長

以 上